

北京市で日中韓の青少年による音楽交流事業が開催されました

(財)自治体国際化協会茨城県支部

7月29日(日)、中国北京市においてアジア青少年ロック音楽交流事業「TEENS ROCK ASIA IN BEIJING」が開催され、日本、中国、韓国から選出された青少年バンドなど各5組が会場に集まり、熱気のある演奏を繰り広げました。この事業は、3か国の国際交流団体の主催で行われており、日本側の団体は茨城県日中友好協会です。日中韓の交流事業として高い評価を受けているこの事業について紹介します。

事業のきっかけ ～駐日中国大使の提案と茨城県上海事務所の活用～

この事業は2010年にスタートしました。茨城県では、日本の高校生を対象に「TEENS ROCK IN HITACHINAKA」がひたちなか青年会議所の主催で行われていましたが、それを知った駐日中国大使館の崔天凱前大使から提案があり、上海万博会場において日中両国による交流イベントが実現しました。

茨城県は、県上海事務所を設置して、中国とのネットワークや現地活動のノウハウを蓄積しており、上海世博事務局との連絡や交渉から日本からの参加者アテンドまで、様々なサポートを行うことができました。

また2010年3月に開港した茨城空港に、春秋航空による茨城ー上海便が就航をはじめたところであり、茨城空港の利用促進にも効果があったものと考えています。

交流イベントとして高評価を獲得 ～全国への広がりや青少年育成への貢献～

今回の事業は、在中国日本大使館や自治体国際化協会などの後援をいただいて開催しましたが、関係者の方から高い評価をいただいております。アマチュアバンドによる交流事業として他に類を見ない事業であること、バンド参加者は茨城県内だけでなく東京、神奈川、愛知、大阪など全国に広がりを見せていること、バンド参加者のほかに高校生がボランティアスタッフとして参加し、青少年育成にも貢献していることなどが理由として挙げられます。

今後に向けて

来年は日本での開催を予定しています。初の日本開催となった2011年は、東日本大震災の影響で韓国からの参加が実現しなかったため、主催者の今回に賭ける思いは強く、交流事業としてのさらなる成長を目指して準備を進めています。茨城県は、中国・韓国との交流推進、本県観光や空港のPR、青少年育成など、様々な面で意義のあるこの事業を積極的に支援していきます。

事業の詳細についてはこちらをご覧ください。

http://www.pref.ibaraki.jp/hotnews/2012_07/20120731_03/index.html